



重富小学校 学校便り

剣の平

令和8年度 8月号
創立138周年
(重富小ブログアドレス)

<https://sgtm.synapse-blog.jp/sgtm/>

学校
教育
目標

「剣の平」に誓う
光り輝く重富の子

学校
キャッチフレーズ

well-beingな学校

「9月1日問題」

校長 中島 伸一郎

7月、お盆、出校日が終わって、いよいよ夏休みも1／4となりました。「早く学校始まらないかなあ」という、子どもたちや保護者の皆さんの(違った意味での)声が聞こえてくるようです。私は1学期の終業式で子どもたちに、夏休み中の「早寝・早起き」を求めましたが、ここまでどうでしょうか。「遅寝・遅起き」が習慣になってはいないでしょうか。また、熱中症対策で必要ではあるものの、クーラーや冷蔵庫の番人になっていないでしょうか。まだまだ暑さが残る中での2学期からの学校生活に対応できるか、少し気になっています。気持ちよく2学期をスタートするためには、残りの夏休みの過ごし方が大切です。

【「9月1日問題」】

さて、前述のこととも関係があるのですが、2学期当初は全国的に学校に行きたがらなくなる子が増えます。要因は様々でしょう。夏休み中の過ごし方がよくなくて体がダルいとか、「必ずやりましょう」の宿題が終わっていないなどの自分自身に起因する理由もあれば、まさに体調不良(熱中症や感染症、またはその後遺症等)によるものもあるでしょう。

最も心配なのは、友だちや先生などとの人間関係に悩んで登校したくない場合です。結果として自死を選んでしまう子どもが一番多いのが毎年9月1日であり、「9月1日問題」と言われています。

【まずは相談を】

9月1日の始業式に元気に学校に行けそうかどうか、子どもさんの様子をよく見ていただければと思います。言動に気になることがあれば、2学期が始まる前に担任に相談してください。解決できること、配慮事項等、事前に手を打つことが大切だと考えています。また、県内では10年ほど前に、夏休みの課題が終わらなかった中学生が叱責を受け、その後に自死した事案がありました。夏休みの宿題は担任との約束ですから、やらなかったことを単純に肯定するつもりはありません。ただ、その約束を守るために事前に担任に相談して量を調整したり、提出期限を再設定したりすることは可能なのです。自分がやるべきことを、どのようにしたらクリアできるかを考えさせるのも学びです。いずれにしてもまずは「相談」することです。

9月1日といえば「防災の日」

大正12年(1923年)に関東地方で起こったマグニチュード7.9の大地震の教訓を生かすために、毎年9月1日は「防災の日」とされています。7月28日に熊本県南部で大地震が起きたように、地震をはじめとする自然災害はどこでも起きる可能性があります。何らかの災害が起きた時に御家族がどこに集まるのかを話し合っておくだけでも安心感があるでしょう。8月21日の全校集会(校内放送)でも伝えてあります。普段からの備えをしておきたいものです。